

# 大腸がん検診受けていますか!?

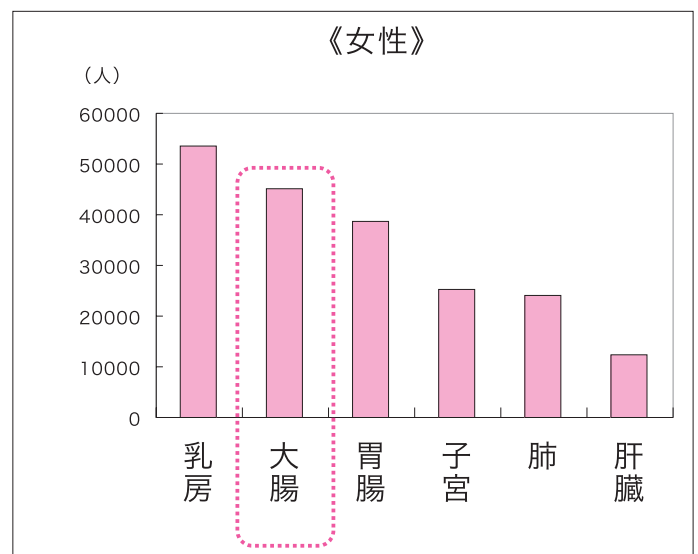
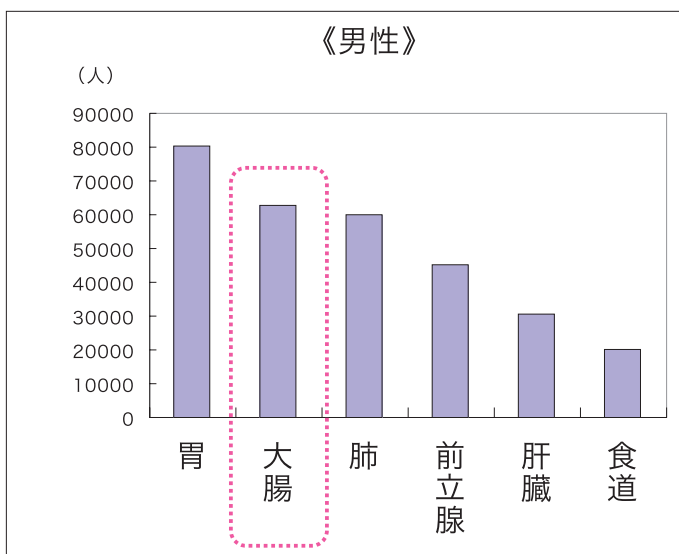
## 大腸がんが増えている!?

日本で1年間に新たに大腸がん<sup>りかんすう</sup>と診断された人数（罹患数）は、2006年では男性は約6万人、女性は約5万人であり、増加傾向にあります。また、臓器別で比較すると、大腸がんは男女ともに、2番目に多いがんです。これは、高齢化の進展だけでなく、私たちの食事が高繊維・低脂肪の和食から低繊維・高脂肪の洋食へと変化した影響ともいわれています。

大腸がんの死亡数についても増加傾向にあり、今後も増加すると予想されています。大腸がんにかかる人は40歳くらいから増加し始め、高齢になるほど多くなります。



図1. 臓器別がん罹患数(2006年)



## 大腸がんが発生しやすい部位

大腸の全長は約2mで、盲腸・結腸・直腸・肛門に区分されます。

大腸がんの70~80%は、直腸とS状結腸に発生しています。

直腸とS状結腸は、便が長時間とどまりやすく、発がん物質の影響を受けやすい部位です。食物繊維を多く含んだ食事をとることは便通を整え、発がん物質と腸粘膜の接触時間を短くし、大腸がんの予防につながります。

図2. 大腸の区分

